



ようこうだより 10月

令和2年10月1日

社会福祉法人みどり会



園長 山崎 恵美

耳を澄ますと草むらから虫の声が聞こえ、木々の葉は黄や赤に染まり秋がやってきたことを教えてくれています。自然に恵まれた環境の中で、栗拾いを楽しんだり、お月見会に飾るススキを探しに出かけたりと季節の移り変わりを五感で感じながら元気いっぱい過ごしている子どもたちです。

先日の9月5日、どんぐり組の運動会“おはなが笑顔になる日”には保護者の方に、0歳児のありのままの姿を見ていただきました。いつもとは違う雰囲気の中で、思い思いの表情を見せてくれる何とも言えない可愛らしい子どもたちの姿に、保護者の方から始終、笑顔と笑い声がこぼれていました。「毎日、こんな風楽しく友だちと過ごしていることが分かって安心しました」とのお声もたくさん頂戴しました。最後まで温かく見守っていただき本当にありがとうございました。

来る10月17日には、1歳児から5歳児の運動会が行われます。今年は新型コロナウイルス感染防止のため、乳児組(1・2歳児)と幼児組(3~5歳児)の2部に分け、途中で観覧席の入れ替えをすることとなりました。本来であれば、保護者の方には自分の子どもだけでなく、1歳児から5歳児までの子どもたちの姿を順に見ていただく中で、乳幼児期の一連の発達や育ちを感じていただけるであろうかと思いますが、今年は実現できず残念に思います。

しかしながら、4月から今日までの約半年間、子どもたちの成長には目を見張るものがあります。興味のある場所を目指し、あちらこちらを探索し発見を楽しむ1歳児。さらに行動範囲を広め、駆け回ったり跳んだり身体を動かすことが大好きな2歳児、自由を求め、友だちとぶつかり合いながらも一緒に様々な遊びを思う存分満喫する3歳児、仲間や大人からの励ましを受けながら苦手なことにも挑戦し自信をつけていく4歳児、自分自身で「もっとこうなりたい」と意欲を持ち、仲間と共に頑張る中で「やったらできる」と自己肯定感や達成感を心に刻み込む5歳児…コロナ禍ゆえに園生活や遊びなど、変えねばならなかったことも多々ありましたが、当の子どもたちは何の憂いもなく、毎日を友だちと笑ったり泣いたり怒ったり、時にはケンカをしたりと逞しく過ごしています。まさに“自分の思うまま正直に精一杯、今を生きている”という言葉がぴったりなのです。

運動会当日は、そんな日常の中で培ってきた子どもたちの成長を保護者の方に是非見ていただき、一人ひとりがキラキラと輝ける「ようこう保育園らしい運動会」になることを心から願っています。



10月~11月 行事予定



- 10月1日(木) お月見会
- 10月17日(土) 1~5歳児運動会 ※予備日 10/24
- 10月19日(月) 内科健康診断〈2〉
- 10月22日(木) 秋の遠足(0・2歳児) ※予備日 10/29
- 10月26日(月) 秋の遠足(1歳児) ※予備日 11/2
- 10月27日(火) 5歳児交通安全教室
- 11月5日(木) 秋の遠足(幼児組) ※予備日 11/12
- 11月中旬ごろ 芸術鑑賞 ※日程は後日お知らせ
- 11月下旬~個人懇談(希望者のみ)※日程は後日お知らせ



鉄棒・うんていに励んでいます。

✿手に『がんばりまめ』ができました✿

→裏面につづく



～子どもを信じて～



涼しい風が吹きはじめた 8 月終わりから子どもたちは裏山や公園など園外散歩へ出かけました。起伏のある山道や坂道を歩き回り、高い所からもジャンプ！広い園庭でも、「さて、さて～」の追いかけっこや大山・小山の上り下りなどをして身体を動かす楽しさを味わってきました。9 月に入り、さまざまな遊具を組み合わせ、全身をフルに使う運動遊びや憧れの運動会の取り組みに心を躍らせる子どもたちの姿がありました。幼児組(3～5 歳児)は運動会当日、個人の取り組みも見ていただこうと挑戦しています。

3 歳児クラスにも、高台が運びこまれました。高台をめがけて走り、両足で跳び、腕を伸ばして台に乗ります。その後、「いち、にのさん！」の掛け声でとび下りるのを何度も楽しんでいました。数日経ったある日、担任の先生から、高台の取り組みを「やらない」と見ているだけの日が続いている M ちゃんの話が耳にしました。「M ちゃんはどんな気持ちなんだろう？」と、その心情について、あれこれと話しながら想像を働かせてみました。そして、やはり、「M ちゃん自身が“やってみようかな…”と思える時まで待ってみましょう。きっと、いつか、その日はくるだろうから…」と待つことにしました。

その数日後、遅出勤の 3 歳児クラス担任の代わりに高台の準備を始めた私に、M ちゃんは「やらない」と自分から言ってきました。「わかったよ。友だちがやっているのを見て応援してあげてね」と声をかけると、M ちゃんは、しばらくの間みんなの姿を食い入るようにじっと見ていました。くり返し高台遊びを楽しみ満足した子どもたちは、そのうち園庭へと駆け出して行きました。誰もいなくなった保育室に M ちゃんと片付けをしようと大人二人だけが残りました。その時、M ちゃんの「やってみる…」というつぶやきが聞こえました。ドキドキしながら、“がんばれ！”と心の中で見守る中、ビックリ!! なんと 1 回目で高台の上り下りができてしまったのです。それも、とてもきれいな両足跳びで…一瞬、あっけにとられましたが、直ぐに「やったー！」と歓声をあげ、3 人でハイタッチして大喜びしました。その後、何度も嬉しそうに挑戦する M ちゃんの姿を保育室に戻ってきた友だちがを見つけ、「すごいね」と手を叩いて一緒に喜んでくれました。

M ちゃんが長い時間をかけて自分で考え、勇気を出して向かった瞬間…なんと尊い時に立ち会わせてもらったことでしょう！こうした子どもたちの成長を目の当たりにした時、私たち大人は子どもの偉大さ、素晴らしさに気づかされ、大人のあるべき姿をも教えてもらっているように感じます。M ちゃんの心には、“やってみたい…でも、どうしよう…どうしたらできるかな？”と複雑な気持ちが渦巻いていたことでしょう。そのことは、M ちゃんの友だちを見つめる真剣な眼差しを見れば推測できます。そんな時に「みんな頑張っているんだから、やっごらん」と一方的に指示されていたら？…きっと、自分自身に向き合い「やってみよう」と心に決めることはできなかったのではないかと思います。子どもの勇気を後押しするのは、“大人が信じて待つこと”。結果を出すことを急がず、子どもの心の動きを感じとりながら、行動に移すまでの過程こそを大事にしたいものです。M ちゃんの弾ける笑顔を見ながら、『信じて待つことの意味』を深く考えさせられた貴重な出来事でした。

～お知らせ～

- 主任 上本先生が 9 月に結婚して
“丑田(うした)”先生になりました。
- 相良先生が 9 月 10 日～産休に入りました。
- 山手かおる先生が 9/23～入職しました。
- 久保彩奈先生が退職しました。



✿3 歳児の高台からジャンプ!! ✿